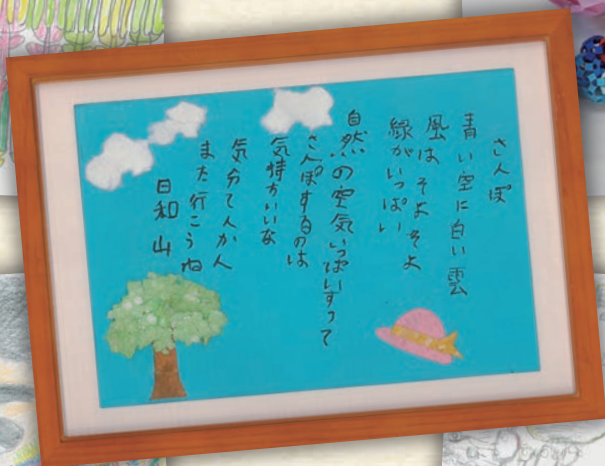


かざぐるま

ひと 未来 輝いて

2025 March

NO. **110**



ふれんず利用者の作品

トピックス

- 令和5年度事業報告（概要）及び決算報告
- 令和6年度役員及び評議員
- 専務理事のごあいさつ
- 希望が丘の移転改築について
- 能登半島地震への支援
- 各施設の取組
- ワークショップ明星園からのお知らせ

令和5年度 事業報告（概要）

令和5年度は、自立的・持続的な経営に向けて利用率向上と目標収支差額の達成の取組を推進するとともに、引き続きセーフティネット機能及び新たなニーズ（高齢障がい、強度行動障がい、医療的ケア、重症心身障がい、難病など）への対応など事業団の質の高い福祉サービスを活かした事業展開と機能強化を目指しました。

特に、令和5年度は「将来構想に基づく後期5か年実行計画」の中間年にあたり、自立的経営基盤の確立を図るため、令和3年度から2か年の実績及び計画の達成状況について評価を行いました。「事業別計画」、「人材確保・育成計画」、「経営改善計画」それぞれにおける重要課題を抽出し、必要な改善策を施設・事業所と共有しながら検討し、実行性のある見直し計画を策定し、自立的経営に向けた取組の推進を図りました。

また、令和2年度から施設運営に大きく影響している新型コロナウイルス感染症が、感染症法上2類から5類へ移行したものの、施設では、断続的な発生やクラスターなどがあったため、引き続き基本的な感染症対策を図りながら事業を継続するとともに、新規利用者の受入促進に努めました。

令和5年度 決算報告

令和5年度資金収支計算書 (単位：円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支		
事業活動収入計		7,047,772,022
事業活動支出計		6,550,443,703
事業活動資金収支差額		497,328,319
施設整備等による収支		
施設整備等収入計		130,446,001
施設整備等支出計		332,413,644
施設整備等資金収支差額		△201,967,643
その他の活動による収支		
その他の活動収入計		288,949,008
その他の活動支出計		422,067,672
その他の活動資金収支差額		△133,118,664
当期資金収支差額合計		162,242,012
前期末支払資金残高		1,812,625,808
当期末支払資金残高		1,974,867,820

令和5年度事業活動計算書 (単位：円)

勘定科目		決算額
サービス活動増減の部		
サービス活動収益計		7,045,824,425
サービス活動費用計		6,657,234,858
サービス活動増減差額		388,589,567
サービス活動外増減の部		
サービス活動外収益計		11,488,265
サービス活動外費用計		4,967,177
サービス活動外増減差額		6,521,088
経常増減差額		395,110,655
特別増減の部		
特別収益計		128,912,157
特別費用計		128,910,608
特別増減差額		1,549
当期活動増減差額		395,112,204
繰越活動増減差額の部		
前期繰越活動増減差額		2,328,417,195
当期末繰越活動増減差額		2,723,529,399
基本金取崩額		0
その他積立金取崩額		230,417,000
その他積立金積立額		350,166,000
次期繰越活動増減差額		2,603,780,399

令和5年度貸借対照表 (単位：円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	2,496,125,414	流動負債	825,558,067
		固定負債	1,338,312,702
固定資産	9,424,330,582	負債の部合計	2,163,870,769
		純資産の部	
基本財産	5,796,469,545	基本金	10,000,000
		国庫補助金等特別積立金	5,047,897,387
		その他の積立金	2,094,907,441
その他の固定資産	3,627,861,037	次期繰越活動増減差額	2,603,780,399
		(うち当期活動増減差額)	395,112,204
		純資産の部合計	9,756,585,227
資産の部合計	11,920,455,996	負債及び純資産の部合計	11,920,455,996

令和6年度 役員及び評議員 (令和6年12月1日現在)

◎役員

職 名	氏 名	現 職
理 事 長	加藤 亮	専任
専務理事	堀井 洋幸	専任
理 事	伊藤 陽介	浜田・伊藤法律事務所 弁護士
理 事	新澤 陽英	公立置賜南陽病院 医師
理 事	深瀬 善信	救護施設泉荘 荘長
理 事	佐藤 保政	総合施設かるむの里 所長
理 事	佐藤 陽一	特別養護老人ホーム福寿荘 荘長
監 事	大泉 享子	山形県労働委員会 委員
監 事	矢口 俊雄	元公益財団法人山形県生涯 学習文化財団 専務理事

◎評議員

氏 名	現 職
阿部 清彦	山形県老人福祉施設協議会 副会長
江口 拓也	社会医療法人二本松会 山形さくら町病院院長
金子 正美	川西町社会福祉協議会 会長
菊地 義隆	山形県知的障害者福祉協会 副会長
佐藤 啓之	遊佐町社会福祉協議会 常務理事
澤邊みさ子	東北公益文科大学 教授
玉木 康雄	山形県社会福祉協議会 会長
福田 香	山形県身体障害者福祉協会 事務局長
前川 孝子	フリーアナウンサー

(※五十音順)

令和5年度実践報告会を開催しました

長年、当事業団では、サービスの向上を目指して取り組んできた日頃の実践について、改めて分析・評価することで、専門性の継承と職場の活性化の推進を目的として実践報告会を開催しています。

昨年度に引き続き、令和5年度はオンラインで実施しました。助言者には、山形県総合コロニー希望が丘所長、総合施設かるむの里所長の他に、令和元年度よりご協力いただいている東北公益文科大学の鎌田剛准教授をお招きし、発表施設に対し、ご助言・講評をいただきました。各施設の取組や助言者からの具体的なアドバイスを、職種を超えて共有することができました。

当事業団では、今後も実践と振り返りを続け、実践研究を通して専門性の継承と職場の活性化を推進してまいります。

助言者をお引き受けいただいた鎌田剛准教授に、あらためて御礼申し上げます。



令和5年度実践報告会

	施 設 名	テ ー マ
最優秀賞	特別養護老人ホーム 福寿荘	排せつの個別ケアについて考える
優秀賞	救護施設 山形県みやま荘	作業プログラムの支援展開 ～救護施設における新規作業の開拓を通じて～
	障害者支援施設 山形県吹浦荘	魚をおいしく食べてもらうために ～嗜好を把握し、食事サービスの向上を目指す～
	山形県総合コロニー 希望が丘まつのみ寮	転倒予防の取組 ～転倒を繰り返す事例を通して～
	ワークショップ明星園 共同生活事業所	強度行動障害のある人への支援 ～行動変容に対するヒントはどこか～

専務理事のごあいさつ



至誠而不動者未之有也

社会福祉法人山形県社会福祉事業団

専務理事 堀 井 洋 幸

至誠にして動かざる者は未だ之有らざるなり（至誠而不動者未之有也）——私の人生で座右の銘にしてきたこの言葉は、幕末の志士である吉田松陰（1830～1859）の語録としても知られていますが、元々は中国の戦国時代の思想家孟子（前372～前289?）が残した言葉とされています。

この言葉は、文字どおり読めば、「これ以上ない誠を尽くして心を動かされなかった者にはこれまで会ったことがない」——即ち、「誠を尽くせば人

は必ず心を動かせる」という意味になります。さらに言い換えれば、「どんな場合であっても誠意をもって相手と接すれば、必ずお互い理解し合える」という意味にもなります。

また、この言葉の前段には、「是の故に誠は天の道なり（是故誠者天之道也）」、「誠を思うは人の道なり（思誠者人之道也）」という言葉が記されています。この前段部分は「誠は森羅万象を貫く天の道であり、この誠に決して背かないよう精一杯努力することこそが人の道」といった教えになるそうです。

人生60余年も過ごしていると、ほぼすべての人は、何らかの壁や修羅場におち当たる経験をします。多くの皆様同様、私もつい最近のコロナ禍への対応を含め、様々な難局を経験してきましたが、数々の局面に対峙する時、いつも紙切れに書いてデスクマットあるいはスマホケースに挟んでいる、この「至誠・・・」の文字を目に焼き付けて事に臨んできました。

もちろんどんなに誠意を尽くし努力してもできないことや、相手に自分の気持ちが通じないこともあります。しかし、むしろそんな時だからこそ、なおさら真剣に相手の言葉に耳を傾け、一層冷静に誠意を尽くし続ける——それこそが「至誠の心」とも言われています。

経営を取り巻く環境は厳しく、様々な課題も山積していますが、そのような中であっても、当法人がすべての利用者や家族、関係者に対して、さらには職員間においても、この「至誠の心」を愚直に貫き続けられる集団として、常に社会に認められるよう願ってやみません。

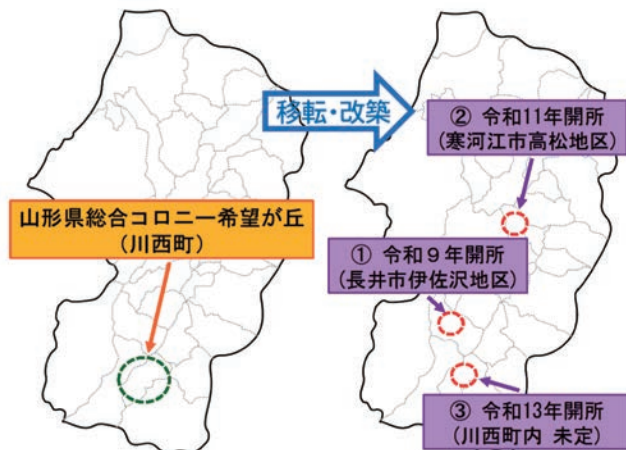


山形県総合コロニー希望が丘の移転改築

昭和49年に設立された総合コロニー希望が丘ですが、老朽化が進んでいるため、移転改築の計画をしています。複数年度にわたり、現在の4施設から3施設へ規模を縮小し、3つの地域へ分散して施設を建設していく予定です。

今年度は、一つ目の施設（長井市に建設予定）の基本設計・実施設計を行いました。入居者様にとって快適な生活の場、職員にとって働きやすい職場環境、新しい地域の皆様にとって親しみやすい施設となるように、令和9年度の開所に向けて、これからも準備を進めてまいります。

【移転改築のイメージ】



【一つ目の施設（長井市に建設予定）完成イメージ図】



【移転改築のスケジュール（予定）】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
長井市	設計	工事建設		開所				
寒河江市			設計	工事建設		開所		
川西町					設計	工事建設		開所

大寿荘の車両が新しくなりました

公益財団法人JKA公益事業振興補助事業を活用して、車両が11月に更新されました。車いす対応リフト付きで、安全かつ快適にご利用いただけます。雪深い季節の今は通院等の送迎で活躍していますが、春には花見ドライブ等、様々な場面で活用し、利用者の日常に彩を添える活動を目指していきます。私たち大寿荘職員は、施設の理念である「笑顔のある暮らし」のもと、日々の業務に励んでまいります。



◎令和6年能登半島地震への支援

2024年1月1日に発生した能登半島地震の被災地へ、当法人から3名が派遣、協力の機会をいただきました。現地の支援者は今もなお、利用者様をはじめ皆さんのために奮闘しているとのことと存じます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

山形県総合コロニー希望が丘しおり 副所長 金田 裕樹

令和6年1月1日「能登半島地震」が発生。地震とともに大きな被害があった石川県に3月12日からの4日間、山形県DWA Tの一員として1.5次避難所（金沢市）の支援活動に行ってきました。避難している方は約90名。避難所内をラウンドしながら皆さんに生活状況の聞き取りをし、聞き取った内容の整理や必要な情報提供など行ってきました。被災された方の様々な心境に触れ、災害の怖さを感じ、少しでも早い復興を願うばかりでした。忙しい時期でしたが、快く送り出していただいた職場のスタッフに感謝しています。

山形県総合コロニー希望が丘しらさぎ寮 援助員 黒田 僚

私は介護協力要請で社会福祉法人徳充会石川県精育園に向かいました。今回支援に従事した際に最初に感じたことは、職員の皆さんがとても明るく元気なことでした。しかし実際は、職員の過半数が被災されていました。そのような現実を感じさせずに、避難先の施設で、利用者のため工夫しながら支援されていることに感銘を受けました。災害はいつまた起きるか分かりません。今回の経験を生かして災害に備えていきたいです。

多機能型事業所ふれんず 援助主査 根川 裕嗣

令和6年1月1日16時10分、石川県能登半島で最大震度7の地震が発生し、能登半島穴水町で被災にあったのが、障害者支援施設の『石川県精育園』です。今回の派遣先である約130km離れた加賀市『錦城学園』へ、115名中40名が避難となりました。職員の方々も被災されており、ご家族は地元で仮設住宅に暮らし、ご自身は単身赴任をせざるを得ない現状もあるとのことでした。「復旧すらまだなので、復興は程遠いと思います。」の言葉が忘れられません。被災地域の皆様の安全と、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

●各施設の取組

福寿荘 「生活を支える取組」

福寿荘では、自立支援の一環として食事に関連する作業に着目し活動を行っています。調理から後片付けまでの一連の過程において、できることをできるところまで行っていただいています。米とぎ、みそ汁作り、盛り付け、食器洗い等です。何かをやるときの表情はいきいきとしています。できる場面が増え、役割を持つことで生活への意欲が高まります。

今後も利用者の皆様が自分らしく暮らすことができるように、日々の生活の中で、できる場所は「主体的」に取り組むことができる場を作って行きたいと思っています。

作業療法主査 矢作 智志



デイサポートまつかぜ 「職員も楽しんで」

援助主査 高橋 拓也

デイサポートまつかぜは、旧高山小学校に移転して2年目となりました。利用者さんはもちろん、職員も一緒に楽しめる事業所を目指して行事等に取り組んでいます。

芋煮会では職員がアニメを題材とした劇を行い、女性キャラクターを男性職員が演じることで、利用者さんから大きな笑い声が上がりました。

クリスマス会では利用者さんと職員でハンドベル演奏、ジェスチャーゲームを行いました。また、職員が変装してダンスをした際は、利用者さんも音楽に合わせてリズムを取ったり、一緒に踊ったりし、「楽しかった!」とたくさんの声をいただきました。



鶴峰園 「活動の取組」

援助員 杉山 友美

生活介護事業の日中活動では、当日の担当職員がその場で相談して活動内容を決めており、たこ焼きや孟宗汁作りなどの調理や、ボッチャやスカットボール等々…活動内容が豊富です。中でも『もぐら叩きゲーム』は、職員がもぐらになるので、とても盛り上がります。これからも、創意工夫をして楽しく参加できる活動を提供していきます。

就労継続支援B型事業では、日々受注している作業を行っており、利用者と職員が話し合いながら、より丁寧かつ迅速な作業となるように頑張っています。

日々、別々に活動していますが、夏祭りや忘年会等の大きな行事には、事業の壁を超えて一緒に盛り上がっています。利用者が主体となってプログラムを考えて企画しており、年々満足度があがっています。



ワークショップ明星園 自主製品の紹介

ワークショップ明星園では、利用者さんが描いた可愛いキャラクターデザインを使用したメッセージカードやメモ帳を販売しています。マルシェ出店ではテレビ紹介（Nスタ山形）もされており、とても人気がある商品となっています。

現在、キャラクターデザインを使用した置き時計を試作中です。ぜひお買い上げ、またはお気軽にお問合せよろしくお願い致します。



トートバッグ
1,760円

オリジナルヘアゴム
220円

ポーチ
330円

メモ帳
220円

メッセージカード
110円

【お問合せ】

山形県ワークショップ明星園 〒990-0811 山形市長町728番地の2
TEL: 023-684-3781 FAX: 023-684-3876

山形県社会福祉事業団ホームページ
では、施設情報や職員採用情報を随
時更新しています。

URLはコチラ↓

<https://www.ysj.or.jp>



山形県社会福祉事業団では
感染対策を徹底しています



※掲載写真の一部は、撮影時のみマスクを外しています。